

麻酔科

1. 診療科紹介

主に手術を通して地域医療に貢献している。現在、常勤医としては日本麻酔学会指導医 1 名と、後期研修医が 2 名在籍している。そのほか非常勤医が 15 名程在籍しており、大部分が専門医ないしは指導医の資格を有している。昨年の総手術件数は、3,155 件でそのうち全身麻酔が 2,280 件である。全身麻酔の内訳は外科 849 件、整形外科 312 件、脳外科 243 件、心臓血管外科 58 件、泌尿器科 379 件、産婦人科 199 件、呼吸器外科 84 件、などとなっている。また、緊急手術が 431 件あり大部分が全身麻酔である。このように、緊急も含めて多岐にわたる手術麻酔を経験できるのが当院での麻酔科の研修の特徴として挙げられる。また資格についてであるが、当院が麻酔科認定病院であるため、2 年以上の修練で麻酔標榜医（認定医）、さらには専門医、指導医の資格を取得することも可能である。

2. 関連学会

日本麻酔科学会：<http://www.anesth.or.jp/>

日本臨床麻酔科学会：<http://jsca.umin.jp/>

ペインクリニック学会：<http://www.jspc.gr.jp/>

3. 施設認定・指導医

施設認定：2009 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日

研修責任者氏名：薬師寺 勤

- 1) 薬師寺 勤 部長 日本麻酔学会指導医
- 2) 梁 潤啓 日本麻酔学会認定医
- 3) 松田 和子 日本麻酔学会認定医
- 4) 東元 壮建 専攻医

4. 日本麻酔学会専門医受験資格

- 1) 認定医として、申請する年の 3 月 31 日まで 2 年以上麻酔科関連業務に専従（週 3 日以上）していること。
- 2) 認定病院で申請する年の 3 月 31 日までに満 1 年以上かたよらない麻酔管理業務に専従していること。
- 3) 申請する年の 5 年前の 4 月 1 日から申請する年の 3 月 31 日の間に、所定の研究実績（50 単位）を取得していること。

5. 後期研修により取得可能な専門医

- 1) 日本麻酔学会認定医

6. プログラム

■ 後期研修の目標

前期麻酔科研修をふまえて

- 1) 麻酔の術前・術後診察を指導医とともに行って、問題点が指摘できる。
- 2) リスクの小さい患者の術前～術中～術後までを一人で管理できる。
- 3) 腰椎麻酔、腰椎下部の硬膜外麻酔を指導医の監督の元で一人で行える。

■ 目標達成のための戦略の特徴

- 1) 10 数名の専門医、指導医の指導を受けられる。
- 2) 症例数が豊富で、科による偏りが無い。

■ 年度毎の研修

- 1) 1 年次 :
- 2) 2 年次 :
- 3) 3 年次 : 平均 2～3 例/日の導入～抜管までを指導医とともに経験する。
- 4) 6) の後期研修の目標項目を達成する。

7. 大学医局との関連

京都大学麻酔科の関連施設

8. 将来の進路

- 1) 武田病院グループの病院（当院含む）で、スタッフとして勤務
- 2) 大学院（京都大その他）

9. 研修問い合わせ先

麻酔科部長 薬師寺 勤

E-mail:t-yakushiji@takedahp.or.jp